西山ようすけ 豊島区議会活動報告

ピースレター Peace Letter

No.36

2018年 1月号

発行者
公明党豊島区議団
豊島区南池袋 2-45-1 豊島区役所内公明党控室
TEL：03-3981-1428

平素よりご支援を頂きまして、誠にありがとうございます。
２０１８年が始まりました。本年も区民の皆様の暮らしの向上を目指して、誠心誠意議員活動に努めてまいります。

さて、昨年１２月５日に豊島区議会第四回定例会が最終日を迎え、**西山ようすけ**の政務活動報告を、ピースレターを通してご報告させていただきます。

今回から紙面を一新させて頂き、四面構成となっています。一面では今回の区議会にて新しく決まりました条例トピックス、中面では豊島区にとりまして大きなニュースをピックアップさせていただき、最終ページでは**西山ようすけ**の活動や皆様の暮らしに役立つトピックスをご紹介させていただきました。

街の賑わいの創出と共に、**西山ようすけ**は地域に根差した一人として、福祉の充実や住み良い地域づくりにこれからも頑張って参ります。今後ともご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

区議会としまピックアップ

豊島区議会第四回定例会にて決まりました条例・要綱の中から、主な項目をピックアップしてご紹介します。

1.郵便物の誤配問題解決に向け

現在、豊島区では住居番号までが同一の建物等相当数存在しているため、かねてから郵便物の誤配などの問題が指摘されていました。この問題を解決するため、このたび住居表示に補助番号を導入することになりました。

例）豊島区南池袋２－４５－１－５　下線部分が補助番号です。

補助番号を付けるには、申請が必要です。

詳しくは
豊島区ホームページを
ご確認ください

2.豊島区建物等の適正な維持管理を推進する条例の一部改正

今まで空き地の放置や樹木の放置に対し区が行える対策に制限がありましたが、今回の条例により一歩踏み込んだ対策がとれるようになりました。

例）近隣から空き地の雑草に対する苦情が上がり、区が地主に対応を話しても動きが全く見られない場合、最終手段として区が一歩踏み込んだ対応ができるようになりました。

※写真はイメージです。

詳しくは
豊島区ホームページを
ご確認ください

ようすけの実績レポート

1.決算委員長を務めました。

平成29年豊島区議会決算特別委員会にて、委員長を務めさせていただきました。

2.池袋本町公園の清掃・樹木せん定を継続的に実施しています。

11月上旬、秋の深まりとともに公園内には落ち葉が散乱していました。定期的に清掃、樹木せん定を実施し写真のようにきれいになりました。

ようすけの「暮らし役立ち」トピックス

1.「池袋４丁目の池袋公園」と「池袋本町１丁目児童遊園」のトイレを改修しました。

現在豊島区では区内に１３３か所ある公園、児童遊園、公衆トイレのうち、８５か所を３か年で建て替え、または改修工事を行っています。女性が使いやすい環境を目指し、今後も各地で改修工事が行われる予定です。

池袋本町１丁目児童遊園

池袋公園

2.特定不妊治療費の一部を助成します。

区では不妊治療費に対する経済的負担を軽減するため、体外受精・顕微受精と男性不妊治療に要する費用の一部を助成します。

詳しくは豊島区ホームページをご確認ください。

西山ようすけ 活動状況を配信中

メールマガジン会員さん募集中！

ぜひご登録ください！

西山ようすけ　検索

メールマガジン登録 QRコード

西山ようすけ　検索

動画サイト QRコード

LINE@ QRコード

Facebook twitter でも
活動状況を配信しています。友だちリクエストやフォロワー登録、お待ちしています。

祝・2019年「東アジア文化都市」国内候補都市決定!!

豊島区は、2019年の「東アジア文化都市」国内候補都市として選定されました［開催期間／2019年1～12月］

～東アジア文化都市とは？～

「東アジア文化都市」とは、文化庁による国家プロジェクトです。日本・中国・韓国の3か国で、毎年各国から１都市ずつ、その国の代表となる都市を選び、文化・芸術分野での相互交流を行ないます。

これにより、東アジアの多様な文化を世界により強く発信し、文化芸術やクリエイティブ・観光産業が継続的に発展することを目指しています。豊島区は、豊富なメニューの文化資産をもとに「国際アート・カルチャー都市構想」を掲げ、国際的な発信も視野に入れた文化によるまちづくりを進めてきたことで立候補し、2019年の国内候補都市として選ばれました。

世界最大級の音楽祭
ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 2018

ゴールデンウィーク開催決定!!　5月3日（木・祝）・4日（金・祝）・5日（土・祝）

東京国際フォーラム、大手町・丸の内・有楽町　**そして2018は池袋エリアへ拡大**

フランス北西部の都市ナントで生まれた革新的な音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」が、池袋にて開催されます。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンは2005年の初開催以来、述べ780万人が熱狂した**世界最大級のクラシック音楽祭です。**

詳しくは区ホームページをご確認ください→

2020年までに「としまのまちと文化はこんなに変わります！」

2015年の庁舎移転を契機に区の新時代を拓くまちづくりがはじまりました。「国際アートカルチャー都市構想」をけん引する庁舎跡地開発「Hareza池袋」、まちを変える「池袋駅周辺4公園」の整備など、「まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市」が姿を現します。

導入予定の「電気バス」に試乗してきました。

2019年の新ホールオープンや東アジア文化都市の開催に合わせて導入を目指す「池袋副都心移動システム」の候補車両試乗会に参加してまいりました。

2019年にはこのバスが「池袋西口公園」「中池袋公園」「（仮称）造幣局地区防災公園」「南池袋公園」の4つの公園を回遊する予定です。

移動バスシステムについては
区ホームページをご確認ください。

2019年秋、池袋駅西口の景色が大きく変わります。池袋西口公園を大改修、西口再開発の先導的役割も

池袋西口地区では市街地再開発計画が具体化しつつあり、今回の西口公園大改修プロジェクトは「西口再開発の先導の役割」と位置付けられています。

～新しい西口公園の主な7つの特徴～

1.常設・仮設のステージや大型ビジョンを駆使し、地元イベント、パブリックビューイングからフルオーケストラまで多様な用途に対応します。
2.隣接する東京芸術劇場（4劇場）に続く5つ目の劇場として連携を図ります。
3.日常は憩いの公園空間を演出、災害時は防災広場として活用します。
4.多目的トイレを含む、クリーンなパブリックトイレが設置されます。
5.全方位からのアクセスが可能となる裏表のない顔づくり
6.公園内に案内機能を持つカフェを設置します。
7.池袋西口地区の再開発事業を先導的役割となります。

池袋西口公園再開発は、新聞各紙でも紹介されました。

池袋の野外劇場
19年秋開業予定

豊島区 西口再開発

毎日新聞朝刊　2017年9月7日付

池袋駅西口に野外劇場

豊島区、19年秋に開設

朝日新聞朝刊　2017年9月7日付